

木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり協議会

第1回協議会 開催 (R7.2.25)

- 木曽川中流域の沿川市町及び岐阜県・愛知県と河川管理者が連携し、既存の資源を最大限に活用した流域の魅力の向上、木曽川を基軸としたヒト・マチ・オモイを自転車で繋ぐネットワーク化を図り、安全・安心で賑わいのある豊かな川のある暮らしを実現することを目的に、「木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり協議会」を設立しました。
- 第1回協議会には、委員13名、オブザーバー12名、その他関係者が約40名、総勢約65名が参加しました。
- 木曽川中流域のこれまでの地域活性化の取り組みの経緯の説明に続き、これからのかわまちづくり計画申請に向けた計画内容について意見交換がなされました。
- 委員からは、「まずは沿川を自転車でつなげることが重要」、「インバウンドに向け、サイクリングをしながら木曽川の豊かな自然を通して“日本の良さ”を味わってもらいたい」、「沿川市町で統一的な計画を進めることで、安全管理を効果的に行っていききたい」といった意見が出され、今後の木曽川中流域の沿川市町の広域的な連携や、国や県と一体となった、サイクルツーリズム推進に向けて前進する良い機会となりました。

日時	令和7年2月25日(火) 13:30～15:00
場所	すいとぴあ江南 多目的ホール
委員	羽島市長、美濃加茂市長(代理)、各務原市長(代理)、可児市長(代理)、岐南町長(代理)、笠松町長、坂祝町長、一宮市長、犬山市長(代理)、江南市長、稲沢市長(代理)、扶桑町長、中部地方整備局木曽川上流河川事務所長
オブザーバー	岐阜県 県土整備部河川課長、県土整備部道路維持課長、観光国際部観光資源活用課長、岐阜土木事務所長、可茂土木事務所長 愛知県 建設局治水防災対策監、建設局道路維持課長、建設局道路維持課長、観光コンベンション局観光振興課長、一宮建設事務所長 中部地方整備局 建政部都市整備課、河川部河川環境課、岐阜国道事務所、名古屋国道事務所



協議会の様子



セレモニー記念撮影

木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり協議会

第1回協議会 開催 (R7.2.25)

羽島市



松井市長

羽島市では桜堤サブセンターという素晴らしい国営公園があり稲沢市等沿川市町からたくさんの方に来ていただいている。上流側へのルート、馬飼大橋は一般車両とのすみわけができるような計画を進めていけるよう河川管理者、道路管理者のご指導を賜りたい。課題が多くありながらも羽島市としても進めていけるよう考えている。

美濃加茂市



佐藤副市長（市長代理）

中之島公園のリバーポートパーク美濃加茂はまちなかアウトドア、水辺のアクティビティの拠点として大いに賑わっている。サイクリングロードの整備が進めば一層の活発な利用が見込まれるものと考えており、堤防上のルートなど、安全性を含め活用していきたい。リバーポートパークは入り口が1か所しかないのが課題と思っている。

各務原市



磯谷副市長（市長代理）

各務原市では前渡南公園「わたしのパーク」がオープンとなり、自転車愛好家の拠点、休憩所としての機能を期待している。新愛岐大橋が完成すれば、このルートを活用した回遊性が高まるものと考えており、まずはその充実を目指していく。かわまちづくりの推進にあたっては、他の事業との連携について市民に説明していく必要があることから、ビジョンを示していただけるとよい。

可児市



只腰建設部長（市長代理）

可児市では、下流の犬山市と残念ながら堤体でつながっていない状況の中で、岐阜県の一般道の活用の来年度計画を参考にしながら、安全面を念頭に置き協力をしていきたいと考えている。本市の場合広い道路がなくどのように安全を確保していけるかという心配がある中で、国道41号を活用できないかと考えている。

岐南町



板橋土木課長（市長代理）

岐南町は木曽川に面しているのは200メートルほどではあるが、沿川市町と自転車で繋げることによる広域的な活性化に向けて協力していきたい。

笠松町



古田町長

今年はよりサイクリングに特化したイベントを民間巻き込みながらブラッシュアップし、取組みたい。国内外から来訪者・インバウンド需要を見込んで、サイクリングをしながら木曽川の豊かな自然を通して「日本の良さ」を味わってもらい、交流人口の増加、活性化につなげたい。「日本のサイクリングといえば木曽三川だ」と言ってもらえる取組を一緒に進めていきたい。

木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり協議会

第1回協議会 開催 (R7.2.25)

坂祝町



伊藤町長

坂祝町では、近年川沿いを自転車で走行、散策する利用者が増えてきている印象である。堤防について各務原市側へ抜ける道が途中でなくなってしまうため一般道の活用を考慮しながら検討していきたい。取り組みを進めるうえで安全面が最重要であると考えられるため、調整、協力しながら進めていきたい。

一宮市



中野市長

近年自転車の事故率が高い現状があり、全国的に規制協力がすすめられているが、そういったことを広域広報、誘導サイン・ピクトグラム作成にあたり考慮して、協議会で統一的なデザインにより進められると交通安全の啓発も効果的になると思われる。これからの活動において視野に入れて進めていただきたい。

犬山市



高木都市計画課長（市長代理）

犬山市としては7年度に自転車活用推進計画を進めているところである。並行しながら自転車の取り組みを進めていけたらと考えている。

江南市



澤田市長

これまで中流域のかわまちづくり協議会で地域資源の活用について取り組んできたところだが、今回自転車と絡めてどう展開・PRできるかというところが大きな目標になってくると考えている。

稲沢市



清水副市長（市長代理）

まずはサイクリングロードが線としてつながることが重要と感じており、未整備区間の整備を進めていきたい。そのうえで木曽川沿川をぐるりと1周でできるようになることがサイクリストにとっては重要と思われることから羽島市側へも接続できるよう連携していきたい。

扶桑町



鯖瀬町長

地域活性化のためには、観光でレンタルサイクルにより周遊したい利用者層を取り込んでいくことが重要と思われるが、ロードバイクである程度スピードを出して走行したい利用者と、観光で周遊する利用者が一緒に走行するのは若干心配な面もある。交通面、地理的な面を踏まえて区間によってロードバイク利用の重点区間を設けるなどの対策を今後検討していただきたい。